

地域連携ネットワーク構築支援事業

成果報告

長崎県建設産業団体連合会

平成28年2月9日

産学官連携建設業人材確保育成協議会（H26.7～）

建設業の人材確保育成に産学官連携して取り組む（事務局：建産連）

学：大学、工業高校、技術センター

産：建設業協会、鉄筋組合、管組合、測量設計協会

官：労働局、河川国道事務所、県

協議会は年に3～5回開催し、WGを設置して取組の促進を図る。

設置WG（5）

- ・地域連携ネットワーク部会 … 教育訓練システム構築
- ・人材確保育成PR検討WG … パンフ「今こそ！建設業」
- ・社会インフラ広報作業部会 … 総合的PR連携
- ・「道守」活用検討部会 … 維持管理体制の強化
- ・「電子銘板」研究会 … 「電子銘板」の導入・普及

目的

地域連携ネットワーク構築支援事業の経過

教育訓練システム構築

H27.3
地域連携ネットワーク
構築支援事業（実施）
（担い手確保育成コンソーシアム）



新規入職者の教育訓練

未就業者の教育訓練

H27.6
建設労働者緊急育成
支援事業（厚生労働省）



未就業者の教育訓練



事業実施の枠組み

地域連携ネットワーク構築支援事業

建設労働者緊急育成支援事業

建設産業担い手確保育成コンソーシアム

厚生労働省

事務委託

業務委託

(一財) 建設業振興基金

地域連携
ネットワーク

業務委託

産学官連携建設業
人材確保育成協議会

長崎県建設産業団体連合会

地域連携ネットワーク部会 (WG)

設置

協力

地方拠点

教育訓練システム構築の体制

地域連携ネットワーク部会 (WG)

産	建設業協会 鉄筋工事業組合 ほ装協会 鉄構工業会 中小建設業協会 管工事業組合 電気工事業組合
---	---

学	長崎大学 長崎工業高校 ポリテクセンター 建設技術センター
---	--

官	長崎労働局 長崎河川国道事務所 長崎県土木部
---	------------------------------

協力支援

実施体制

長崎県建設産業
団体連合会

振興基金 地方拠点

教育訓練実施団体

鉄筋工事業協働組合
長崎県建設業協会

鉄筋工の教育訓練（未就業者）

1. 概 要

第1期

期 間：平成27年11月16日
～平成28年1月15日（2ヶ月間）

受講者：3名

第2期

期 間：平成28年2月1日～3月31日（2ヶ月間）

受講者：6名

場 所：（公財）長崎県建設技術研究センター

教育訓練内容

講 義：鉄筋の基礎技術、安全、CAD、建設行政のしくみ

実 技：鉄筋加工・組立、強度試験

免 許：玉掛け、クレーン

実 習：鉄筋加工場研修、工事現場研修（新幹線、県庁舎）

鉄筋工の教育訓練（未就業者）

2. 実施フロー

- | | |
|------------|---------------------------------|
| ① 教育者確保養成 | 現役 1 級技能士 9 名（富士センターで教育者養成 1 名） |
| ② カリキュラム作成 | 実技訓練を主体に基礎技術訓練、安全、免許講習など |
| ③ 教科書作成 | 2 級技能検定、出前研修、新人研修のテキスト |
| ④ 会場確保 | 長崎県建設技術研究センター |
| ⑤ 教材・機材調達 | 加工機械等：リース、鉄筋・工具：購入 |
| ⑥ 人材募集 | ハローワーク紹介（チラシ等）、テレビCM、新聞広告 |
| ⑦ 教育訓練 | 講義、実技、免許講習、現場実習など 2 ヶ月間 |
| ⑧ 就職斡旋 | 訓練終了後就職斡旋 |

鉄筋工の教育訓練（未就業者）

3. 訓練風景



鉄筋組立実技研修



鉄筋引張り試験研修

鉄筋工の教育訓練（未就業者）



工事現場実習



安全研修

鉄筋工の教育訓練（未就業者）

4. 課題等

- 教育者が経営者であったのため、訓練生に寄り添った充実した訓練が実施できた。一方ローテーションの調整に苦心。可能であれば教育者はOB技能者を軸とした陣容が望ましい。
- 1次募集は広報に費用がかかったが、その効果が徐々に現れた。2次募集はチラシの配布のみで、当初を上回る応募があった。
- 応募者が就職が決まるなど途中で辞退するケースがある。「訓練便り」を配布するなどつなぎ止める工夫が必要。
- 1人の教育者に受講生2名が限度であった。拡大検討が必要。
- 若年者、県内在住者の参加を優先する仕組みが欲しい。

鉄筋工の教育訓練（新規入職者）

1. 概要

平成27年度（入職3年未満の技能者）

内 容：鉄筋加工組立実技、クレーン運転免許講習、仕事のやりがい
期 間：平成28年2月～3月 5日間（2回）10名

平成28年度（新規入職者）

内 容：建設業の役割、ビジネスマナー、安全講習、図面の見方など
期 間：平成28年4月 3日間（予定）

③技術者教育訓練システム構築

○未就業者（建設労働者緊急育成支援事業）

- ・期 間：平成28年3月 5日間
- ・場 所：建設技術研究センター
- ・受講者：40～60名
- ・教育訓練内容
 - 講 義：仕事のやりがい、工事の種類と各種構造物の概要、
コンクリート工、土工、各種品質試験、資格等の概要
 - 実 習：測量実習、CAD実習
 - 講 習：玉掛け

現場に必要な
基礎的な知識

○新規入職者（地域連携ネットワーク構築支援事業）

- ・期 間：平成28年4月 5日間
- ・場 所：建設技術研究センター
- ・受講者：40～60名（入職3年以内）
- ・教育訓練内容
 - 講 義：ビジネスマナー、公共事業の概要、入札契約手続
建設業関係法、施工管理（品質、出来高、工程、安全）
 - 実 習：積算、写真の撮り方、図面の見方

教育訓練システム構築の今後の取組方向

- 対象業種の拡大 → 「型枠工事業」、「鉄骨工事業」…
- 自立運営に向けた取組（事業終了後）
 - ・ 効率化、コスト削減
 - ・ キャリアアップ助成金の導入促進の検討
 - ・ OB教育者の確保
- 総合建設業が求める「多能工」の教育訓練のありかた検討

地域連携ネットワーク構築支援事業のメニュー

①産学官連携人材確保育成協議会

②技能者教育訓練システム構築

③技術者教育訓練システム構築

④離島建設業人材確保育成システム構築

⑤公共インフラ維持管理の人材確保育成

離島建設業人材確保育成システム構築

「島内で働くことを考える会」

特定国境離島(広域連携)

対馬 壱岐 五島 上五島

特定国境離島法
定住促進支援対策

しま定住促進協議会(地域連携)

行政

各産業
団体

政治

今通常国会に
法案提出予定

連携による「しま定住促進対策」

1. しま奨学金制度の創設
2. しま職業訓練制度の創設
3. しま定住サポート制度の創設

<今年度の成果>

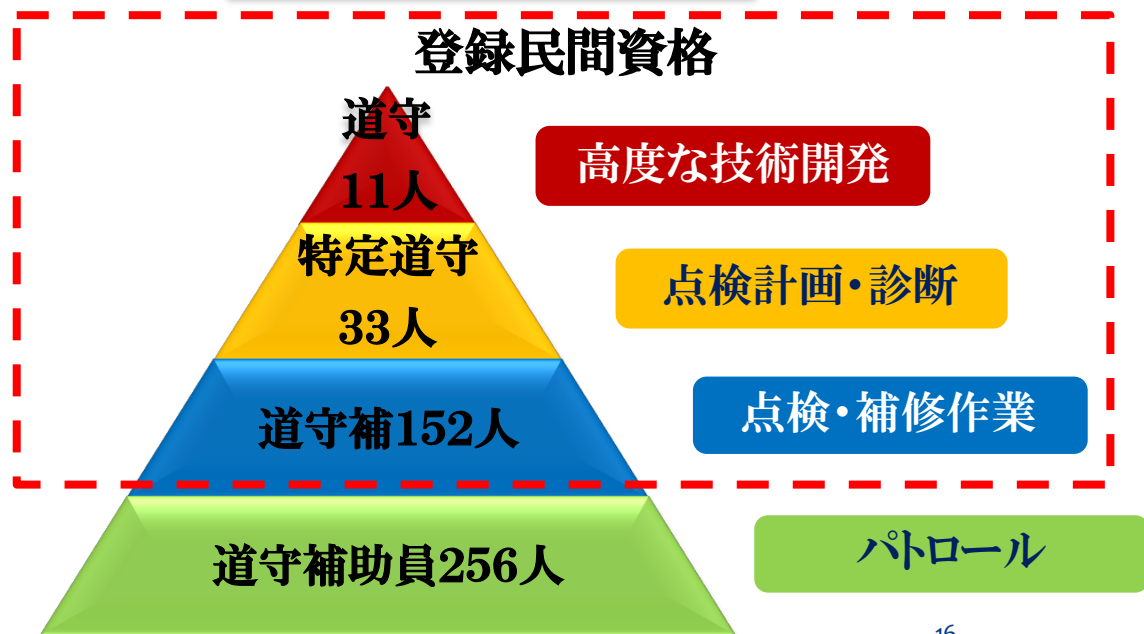
- 地域連携人材確保枠組構築
- 工業高校の離島中学校勧誘
- 宮崎産業開発青年隊への入隊

公共インフラ維持管理の人材確保育成

長崎大学の「道守」が国交省の点検診断民間資格に認定（H26.12.26）

産学官連携「道守活用検討部会」を設置し活用方法を検討

道守の現状



課題

- 活用方法の確立
 - ・役割分担と連携
 - ・工事への活用
- 資格者養成数の拡大
- 地域バランスの確保

「道守活用検討部会」第2回部会会議までの状況

	活用検討の方向性	今年度の成果
長崎大学	<ul style="list-style-type: none">・ 道守制度の拡充・ 新技術の研究・活用検討	<ul style="list-style-type: none">・ 養成数の拡大方針・ 工事活用に対応したカリキュラムの検討
県・市町	<ul style="list-style-type: none">・ 維持管理システム構築・ 維持管理体制の充実・ 維持管理コストの縮減	<ul style="list-style-type: none">・ 調査設計で試行（市）・ 橋梁工事で試行（県）・ 複数年一括発注の導入検討（県：離島）
	<ul style="list-style-type: none">・ 複数年一括発注の導入	
建設業	<ul style="list-style-type: none">・ 地域建設業が施工可能な施工技術・工法の導入・ 維持管理体制の確保	<ul style="list-style-type: none">・ 資格取得の促進

「産学官連携人材確保育成協議会」におけるその他の成果

① 「職業生涯モデル」の普及（労働局「今こそ！建設業」）

② 休暇取得促進モデル工事の試行（県）

③ 建設総合ホームページの運用開始

④ 電子銘板の設置試行（全ての工事従事者名の掲載）

おわりに

- ・鉄筋工の3人の訓練生は訓練を通じ安心と自信が少しついて、閉校式ではこの道でやってみようという顔つきに変わっていた。
- ・鉄筋組合には、十分な訓練と寄り添いがあれば、人材確保と定着の促進に必ずつながっていくという気運が生まれたようだ。この教育訓練システムは持続していくものと確信している。
- ・技術者の新規入職者研修も、今回の取組を契機に技術センターが自主実施に向けた検討を始めた。今後費用負担の整理を行う。
- ・鉄筋の教育訓練システム構築は初めての取組で、いろいろ手探り状態で進めてきたが、なんとか1期研修を終了することができた。
- ・鉄筋工事業の講師をはじめ、多くの関係者の方々のご努力、ご支援に感謝申し上げます。